

委員会報告

平成18年6月定例会において、各委員会委員長より平成18年3月定例会以降の所管事務調査について報告がありました。

議会運営委員会

開催日 平成18年6月9日

委員長 猪狩 新一郎
副委員長 松本 浩司
委員 中津 伸一
委員 塩田 史子
委員 渡邊 正俊

平成18年6月定例会の日程および提出予定議案、陳情書等、広野町議会委員会条例の一部を改正する条例(案)、広野町議会広報の発行に関する条例の一部を改正する条例(案)を審議しました。

本計画の見直しを行い、平成18年3月に「第三次広野町町勢振興計画基本計画見直し(概要版)」を策定した旨の説明があった。

委員会として、町勢振興計画は、まちづくりを進めるための総合的・長期的な指針となるものであり、今後、基本計画に定める基本的な施策を具現化するための実施に向け検討するよう要望し、次のような提案があった。

① 団塊世代の増加により、都市部から広野町への定住化の促進

② 遊休地の利活用

③ 商店街活性化対策として、駅東側の開発化(宅地造成)



田園風景が広がる駅東側の水田地帯

後年度負担を考え慎重な対応を

総務常任委員会

開催日 平成18年5月15日

委員長 司 範一郎
副委員長 浩 正伸
委員 本 木津 狩 本
委員 松 鈴 中 猪 坂
委員 長 員 員 員

調査の結果

(1) 国際人育成支援事業



JFAに無償で貸している広野町サッカー場

平成18年度整備事業の概要(1) 男子寄宿舎整備として、男子寄宿

舎(中学生用)第1期新築工事でスタジアム南側に建設、平成19年2月下旬完了予定 ② サッカー場整備としてクラブハウス新築工事、平成19年2月下旬完了予定)について説明を受けた。

JFAとの契約について発言があり、その過程内容について質疑があった。町有財産借受等申請書により、JFAは「当協会は、サッカーの普及振興を目的に設立された公共的団体であり、財産の使用目的がサッカーによる国際人育成を目指す人材育成プログラムを実施するためのものであります。」

その内容は、公共性が高く、営利を目的とするものではないので貸付料の全額免除をお願いします。」とのことであった。なお、4月1日付けで契約済である。契約書中、確約書について管理運営に関し、特に第3項(施設の大规模改修については、そのつど町と協議する。)について、後年度負担が想定されるので慎重な対応が必要との意見があり、委員会としてこの案件については県を含めた3者による対応が必要との意見で一致した。

農産物加工・販売拠点の整備を

産業常任委員会

開催日 平成18年5月17日

委員長 渡 邊 正 俊
副委員長 新 妻 良 平
委員 佐 川 栄 蔵
委員 渡 辺 久 長

調査の結果

平成18年度産米の生産目標

平成18年度産米の生産調整推進状況について、産業グループリーダーより説明があった。それによると、現時点における生産調整に係る申告状況は、町内総農家戸数421戸のうち、309戸の稲作農家より申告がされ、達成率は78.5パーセントとなっている。

集荷円滑化対策加入率の落ち込みや、有機・特別栽培米作付状況等により、今年度の生産目標数量



新鮮な地元野菜を「ふるさと広野館」で販売中

減少により厳しい状況であるが、関係機関と協力のもと100パーセント達成に向けて推進している状況である。

また、平成17年度の産地づくり交付金事業や、町単独補助金事業の実績についても報告があった。本町の加工用米助成に重点を置いた補助制度や、特別栽培米に対する補助制度の確立と販路先確保等、多くの課題点を指摘する意見が出された。

米価が低迷する中にあり、農家の米づくりに重点を置いた経営から脱却するためには、転作農産物の販路確保に向けた努力が必要であるという意見に集約された。

(2) 二ツ沼総合公園整備事業の経過

二ツ沼周辺整備を山村振興補助事業、電源三法交付金補助事業で整備され、当初昭和63年広野町ふるさと村整備計画、平成10年二ツ沼総合公園第2期整備計画の中で公園の施設がほぼ完了し、平成15年度から相双地域観光拠点整備事業を平成17年度に完了し、公園の施設運営については平成7年に広野町振興公社を設立、平成18年度からは指定管理者制度により引き続き広野町振興公社に委託をしている。

昭和63年度から平成17年度までの総合公園の整備事業費の内訳は、総事業費36億4,849万9300円、補助金21億4,419万1千円、起債5億3,740万円、町費9億6,689万9,930円であるとの説明があった。

(3) 第三次広野町町勢振興計画基本計画の見直し(概要版)

第三次広野町町勢振興計画の策定から5年が経過し、この間、社会経済情勢が大きく変化したこと、また、複雑多様化する町民ニーズに的確に対応するため、基

これら状況に対処するため、二ツ沼総合公園を農業振興に寄与する施設として位置づけ、農産物の加工・販売の拠点として整備し、本町農業の振興に結びつける施策を検討するよう強く要望した。



刈り取り間近の広野産小麦